

人文学部卒業研究

B'z 稲葉浩志の歌詞分析

題

目

ーアーティストの作詞の特徴を
語彙とレトリック技法の分析から探る

指導教授

柳谷啓子

印

提出年月日

2018年 12月 17日

学籍番号

HI15038

氏

名

瀧本裕介

B'z 稲葉浩志の歌詞分析
一アーティストの作詞の特徴を語彙とレトリック技法の分析から探る
HI15038 瀧本裕介

要旨

本研究の目的は、B'z の歌詞に関して、多用する語彙やレトリック技法などを分析することで、その作風の特徴を明らかにすることである。レトリック技法とは比喩、擬人法、反復法、押韻法などの文章表現の方法のことを指す。B'z は日本のポピュラー音楽である Jpop の中でも長く活動し、CD などの売上が一番多いアーティストである。多くの人々が一度は聞いたことがあるだろうと思い、分析対象とした。

人々が最も多く聴いているのはメロディに歌詞がついている音楽である。ポピュラー音楽とされる Jpop は大きく分けて歌詞とメロディから成り立つ。歌詞を分析することは音楽の一部を歌詞の表現により学ぶこと、更に音楽を通して日本語の修辞技法など文章の表現を楽しく学ぶことができると考えた。稲葉浩志は B'z のボーカルで一曲を除くすべての楽曲を作詞している。稲葉は歌い方や音楽スタイルがエアロスミスやクイーンなど洋楽に影響を受けている。

研究方法はワードマイニングソフト KH Coder を用いて、語彙の使用数や共起関係を調べる語彙分析を B'z 全曲で行った。BOOWY、THE BLUE HEARTS、GLAY、エレファントカシマシ、ユニコーンの 5 組のアーティストとの使用語彙の比較を行った。この 5 組は B'z と同じバンド形式、同じ年代を活動していた、などを基準にして選定した。対象曲は CD の売上でランキングを取っている『オリコンランキングサイト』を用いて上位 10 曲で分析した。これは稲葉の歌詞の語彙を分析した後、その傾向を比較することでより明確な特徴が現れると考えた。同じく『オリコンランキングサイト』を使用し、B'z のトップセールス 10 曲を野浪 (1995) の「物語の構成分析試案」を用いて構成分析、レトリック技法の表現分析など詳しく行った。野浪は小説で分析したが、歌詞にも相手を思う心理描写や背景、人物の行動などが文章で現れるため構成分析は有用だと考えた。多くの人々が聴いているシングル曲を分析することで、メッセージ性が高く、伝えたいことが分かると考えた。

分析の結果、稲葉は頻出語上位の中で 8 種類の代名詞を約 1200 回以上使用していることや、英語が頻出語の約 3 分の 1 を占めるが判明した。更に「～だろう」など文末に特徴がみられることが分かった。共起関係では出現回数が多い語彙は共起関係が名詞や動詞、否定助動詞など種類を問わずに多いことが分かった。更に上位頻出語が複数含まれている曲を絞っていくとシングル CD に含まれている曲が多いことが判明した。アーティストの比較からも、稲葉は代名詞を他のアーティストよりも多く使うことが分かった。5 組の中で一番多かった BOOWY と比較しても 2 倍以上 10 曲の中で使用していた。B'z のトップセールスの 10 曲の使用語彙は全曲と比べても同じような代名詞や名詞の傾向がみられた。その結果、稲葉は押韻法や擬人法、反復法などを多く使用していて、韻を踏むときは曲自体がアップテンポの曲などが多かった。このことから韻というものは、曲の速さやジャンルによって大きく使用する割合が変わるものだと分かった。一方バラードでは抽象的な表現をすることが多かった。例として「思い出は綺麗な花びらみたい」と表現し、直接「儂い」「美しい」と表現せずに抽象的な表現をするなどが挙げられる。歌詞には工夫が必要でその工夫の差がそれぞれの作詞家の特徴になると感じた。

最も際立った稲葉の特徴は話し言葉だということが判明した。文章ではあまり使われない話した言葉を稲葉は使用する割合が高い。これは稲葉が昔話していた、「歌詞ではあまり使われない言葉を歌詞にする」といったスタイルが明確に表れている結果となった。以上から、稲葉の大きな特徴は代名詞の多様と話し言葉による表現だということが判明した。

キーワード

音楽 歌詞 表現技法 語彙 話し言葉

目次

1. 研究目的.....	1
2. 研究対象.....	2
2.1 B'zについて.....	2
2.2 稲葉浩志について.....	2
2.3 対象楽曲.....	4
3. 研究方法.....	4
3.1 語彙分析.....	4
3.2 他アーティストと分析.....	5
3.3 B'z トップセールス分析.....	5
4. 分析.....	6
4.1 語彙分析.....	6
4.2 5年ごとの語彙.....	8
4.3 複数の頻出語が表れている曲.....	11
4.4 他アーティストとの比較.....	15
4.5 トップセールス分析.....	20
5. 結論.....	37
6. 参考文献・参考 web サイト.....	38
付録.....	i